



校訓 「自分らしく 自立へと」

【学校教育目標】

- 1 自立と社会参加を目指し、社会の一員として生きようとする児童生徒を育成する。
- 2 生涯にわたり成長と発達を続け、自分らしく歩みを進めようとする児童生徒を育成する。
- 3 豊かな心で、たくましく生き抜く児童生徒を育成する。

教育方針

○児童生徒にとって最大の教育環境は教職員自身
○児童生徒の人権、健康、安心・安全を守ることは、すべてに優先する

- (1) ・教師と保護者、地域社会、福祉関係機関、医療機関、寄宿舍との協力体制強化による児童生徒の安全と健康の確保
- (2) ・児童生徒の障害の実態に即した教育の推進
・個別最適な学びの保証と「できた」「分かった」の積み重ねによる自信の醸成
・育てたい「4つの力」（①いろいろな人とかかわりながら生活する力、②自己選択・自己決定できる力、③生きがいを見出す力、④自分の身体について知り、もてる能力を最大限に生かす力）を核とした中長期的目標の設定および個別の指導計画の策定
- (3) ・自立活動の充実による障害状態の改善と障害を克服する態度の育成
・自立活動の基盤に立った計画的な教科指導の展開と生活の質の向上
- (4) ・最新技術を活用した指導の充実と全校体制での一貫したキャリア教育の実施
・体験活動の充実および地域校等との交流及び共同学習による人とのつながりの深化
- (5) ・特別支援教育のセンター的機能の発揮による地域の支援・協力体制の構築
- (6) ・特別支援学校への設置が県内初となる「ハートフルスクールサポートステーション」の円滑な実施に向けた体制整備と円滑な実施
・児童生徒のキャリア形成および教職員の業務改善に資する積極的な働きかけ
- (7) ・協働して教育活動を紡ぐ「チーム二葉」の充実・発展に向けた教職員間の連携強化

経営方針

○誇りをもって職務に専念し、学校の運営を円滑に行う

- (1) 円滑な学校運営の推進
 - 組織的な連携と環境整備
 - ・学部・事務室間の協力による保護者や関係機関への適切な対応
 - ・事務部を主軸とした安心・安全な環境整備と資源の有効活用
 - 専門性の向上と保護者連携
 - ・実態把握に基づく研修への注力と指導力の向上
 - ・児童生徒の成長の積極的な発信及び事実に基づいた丁寧な説明による保護者・関係機関との信頼関係の構築
 - 健康管理と職場環境
 - ・早期相談を可能にする風通しの良い職場環境の整備と規則正しい生活による各自の自己管理の徹底
- (2) 服務規律の確保と信用失墜行為の防止
 - 人権意識と公務員倫理
 - ・あらゆる対象に対する人権意識の保持と互いの尊重
 - ・教育公務員としてふさわしい言動の自覚、およびSNS、交通事故、体罰等の不祥事防止と安全配慮の徹底
 - 誠実な対応と複数体制
 - ・相談には真摯な傾聴と、適切な距離感の保持
 - ・良好な関係構築と安全確保のための複数名による面談や生徒指導の実施
 - 業務改善と効率化
 - ・「報・連・相」を軸とした会議の精選やICT活用による校務の効率化
 - ・勤務時間を意識した業務運営の実施と退勤時刻の遵守
- (3) ハラスメントの防止
 - 配慮ある言動とパワハラ根絶
 - ・自身の言動が周囲に及ぼす影響の自覚と対等な対話による相互尊重
 - ・あらゆるハラスメントのない心理的安全性の高い職場づくり

人を育成する上での「かかわり」「結びつき」の指標

信じ抜く

ありのまま受け容れる

励まし続ける

どこまでも支える

心をつなぐ